

(17) レジ袋の全廃、有料化の実施に係る間接的関与について

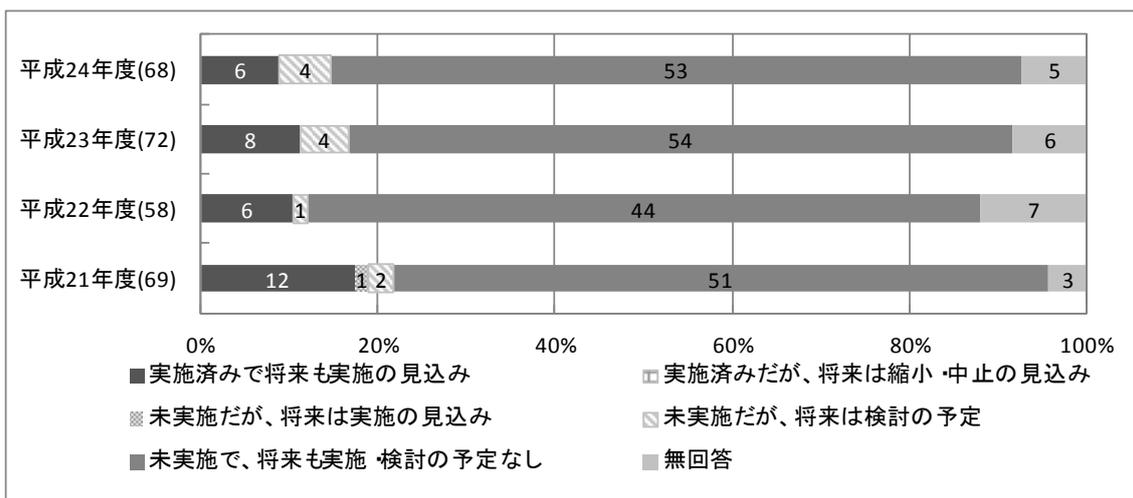
■今年度の特徴

「実施済みで、将来も実施の見込み」が1割弱となっている。一方、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が8割弱を占めている。

■トレンド

1割前後の低い水準で推移している。

レジ袋の全廃、有料化の実施に係る間接的関与について（政令市・中核市・特別区）



- 「実施済みで、将来も実施の見込み」が6件（9%）、「未実施だが、将来は検討の予定」が4件（6%）、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が53件（78%）となっている。

＜間接的関与に対する特徴的な回答＞

自治体	回答内容
札幌市	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会を開催し、三者協定の参加を事業者へ呼び掛け ・事業者、市民団体との協定にかかる事務処理 ・協定締結式の開催 ・報道機関や市民に対しての情報提供
神戸市	<p>レジ袋削減に関する会議を開催し、事業者の参加を呼びかける。各事業者の協定参加意向を調査。協定未締結事業者へ対する個別の訪問等。また、広報紙・チラシ・ポスター等各種広報媒体を通じて、市民へ協定参加事業者をPRし、マイバッグ持参を呼びかける。</p>
岡山市	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市事業系一般廃棄物減量化・資源化推進協議会を設置しており、その中で事業者と意見交換・協議している。
青森市	<p>県が実施している「レジ袋無料配布の取り止め（レジ袋有料化）に関する協定」に対し、協定に参加している行政団体の一員として、本市に店舗を構えている事業者に対して、機会があれば参加を呼びかけていく予定である。</p>
葛飾区	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度は、平成22年度からかつしかごみ減量・リサイクル推進協議会において企画した、商店街で買い物をする際にレジ袋を断った人にスタンプカードに押印を行い、一定のポイントが貯まった時点で景品と交換を行う取組について継続して実施し、行政はそのスタンプカードや景品等の支援を行っていく。 ・かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会でマイバッグの利用状況、マイバッグを使いやすい環境、所持枚数等のアンケート調査を実施した。